

七曲りの町並

野尻宿

江戸から四十宿目

木曾十一宿の中でも、奈良井宿についてその長さを誇る野尻宿(660m)。街道の姿をわずかにとどめる格子窓と低い軒並み。外敵を防ぐための曲がりくねった町並みで知られる。江戸時代の野尻村は、宿と在郷(川向、上在郷、下在郷)とでできていた。「野路里」「野次里」とも書いた。寛政3年(1791)に70戸、文政7年(1824)に40戸、さらに明治に入っても大火が続いたため、宿場の面影は少なくなっている。旭町道は、明治27年(1894)本町大火後に新設された防災道路である。本陣・脇本陣は度重なる火災で建物は残っていない。

野尻宿の特徴



- MAP
1 ななまが

七曲り

野尻宿は狭く曲がりくねった町並みが特徴。外敵を防ぐために所々大きく曲げて作られた道は“七曲り”と呼ばれている。通行時は前後の車にご注意ください。
- MAP
2 はずれ

宿場の東端と西端の家に「はずれ」という屋号がついている。

お問合せ先
大桑村役場 TEL:0264-55-3080 FAX:0264-55-4134
大桑村観光協会 TEL:0264-55-4566
<http://www.vill.ookuwa.nagano.jp/kankou/>

※写真・イラストは全てイメージです

野尻スポット

- MAP
3 こうざつばあと いし

高札場跡・いぼ石

野尻駅から徒歩 約 10 分

江戸時代には高さ1丈6尺(約4m)、横3間(約5.4m)、奥行1間(約1.8m)の高札が掲げられていたが、現在はその石垣が残るのみである。そのそばに高さ約2mの「南無妙法蓮華經」の碑がある。台座になっている大きな石は「いぼ石」と呼ばれ、その昔、イボのできた人がこの石に触れるとイボが治ったという言い伝えがある。



- MAP
4 みょうかくじ

妙覚寺

野尻駅から徒歩 約 10 分

臨済宗妙心寺派の古刹。創建は不詳。寛永年間(1624-1645)の大火により古文書・寺宝などが焼失。本堂は享保11年(1726)に再建され、観音堂は安政3年(1856)に建立された。裏庭に十字架を左手に高く揚げたマリア観音と呼ばれる石仏がある。境内のチャンチン・コウヤマキは大桑村指定重要文化財である。

- MAP
5 にわたや

庭田屋

野尻駅から徒歩 約 2 分

昔の旅籠(はたご)の様式を残した建物。昭和53年(1978)公開の映画「男はつらいよ」のワンシーンにも出ている。



- MAP
6 かくめいしゃ

覚明社

野尻駅から徒歩 約 15 分

御嶽山への拝登を一般にも開放した「覚明行者」を祀るお社。覚明行者は修行の途中、この地にあった古宮の滝で水行をし、野尻の古瀬屋を定宿としていた。覚明行者は古瀬屋に安産の守札を授け、御嶽山に登り開山した。守札の効きめは確かで、一民家に祀るにはもったいないと、拝敬者有志の者が祠を建てて祀ったという。安産講も組織され、年2回春(4.23)秋(10.23)に祭を行い子供の安産と成長を祈っている。

- MAP
7 すさおう

須佐男神社

野尻駅から徒歩 約 15 分

祭神は建速素戔鳴尊(須佐男命)(古事記:須佐之男命 日本書紀:素戔鳴尊)後世には、牛頭天王と同一としている。須佐男神社は当初、牛頭社と言われていた。掲額の表面に「天王」、裏面に寛文元年(1661)9月の文字が見え、正徳5年(1715)の災害前のもので、遺物の中ではもっとも古いものである。昔、京都祇園社(現八坂神社)の僧「チョウサイ坊」という者が追放されたとき、御神体を持ち出し、中山道を下って今の野尻上在(かみざい)地区の万納(まんのう)宅に宿った。当主に祇園社の御神体を奉持している話をし、祭祀を勧めたところ、万納は大変喜び己の所有地の山林中に祭祀したという。

木曾ヒノキのふるさと

こくゆうりん 国有林

木曾の森林は、伊勢神宮の御神木や建築材の名産地で「木曾ヒノキ」でも知られる。中世には城郭建設のため大量伐採されてハゲ山となったが、江戸時代になると尾張藩直轄領として厳重な統制下で守られてきた。明治期には皇室財産の「御料林」、戦後は「国有林」と変遷し現在に至る。大桑村は面積の約96%が森林で約75%は国有林である。広域MAP⑧阿寺溪谷も国有林の中にある。

- 広域 MAP
9 しんりんてつどう りんてつ

森林鉄道(略称:林鉄)

野尻駅から徒歩 約 10 分

かつて木材の運搬方法としては、川を筏(いかだ)で下る「木曾式伐木運材法」があった。これが、水力発電所のダム建設で川流しによる運材法が制限されたこと、国鉄線が開通したことにより貨車輸送に切替わる。大正7年(1918)～大正13年(1924)には、野尻駅貯木場の西方から大きく迂回して野尻向で木曾川を渡り、上流の殿線と下流の柿其線に分かれる野尻森林鉄道が敷設された。しかしこの林鉄も、自動車道の開設に伴いトラック輸送に変わり、昭和40年(1966)野尻林鉄は40有余年の歴史を閉じた。木曾川に残る林鉄跡の鉄橋は大正10年(1921)に架設された。現存の木曾の林鉄遺構としては最大級である。

体験・お土産品

- 体験

コカリナ制作体験 ※要予約

(有)小瀬木工所
TEL:0264-55-2008

そば打ち体験 ※要予約

おらが村の味処 いなほ
TEL:0264-55-3398

- 特産品

木工芸品販売

木挽(こびき)の里(道の駅大桑内)
TEL:0264-55-2900

特産品・農産物販売

道の駅大桑 木楽舎(きらくしゃ)
TEL:0264-55-4192

須佐男神社例大祭

毎年7月14日・15日に開催。御輿に移御された御神体が白装束の添守によって町内に担ぎだされる。「詳細MAP⑩小休石」はお祭りの小休止でご神体が置かれる石。この石の前で舞楽が行われる。



小休石
(駐在所横)

- 広域 MAP
8 あてらけいこく

阿寺溪谷

野尻駅から徒歩 約 20 分

木曾五木(ヒノキ・サワラ・ネズコ・アスナロ・コウヤマキ)に囲まれた国有林にある溪谷。四季折々に表情を変える溪谷美のなかでも、エメラルドグリーンの水の美しさは格別。川の深みがまるで浅瀬に感じられるほど透明度が抜群である。

